

宿道

〔しゆくみち〕

SYUKUMICHI
VOL.30
MARCH.2009

市民がつくる地域力、NPO座談会

「地域コミュニティーと まちづくり」

地域の道を訪ねて④ 第1回

パイプライン物語

おきなわ水の文化誌 離島と渴水①

座間味島の水事情

エッセイ

内なる可能性の種を育て咲かせること。

開 梨香

地域に生きる・インタビュー①

納戸義彦さん

架け橋

伊計大橋（うるま市）

宿道通信

朝

日だ。「わあー」と上がる歓声。水平線を覆った黒い雲の中に顔をのぞかせた太陽は、赤みを帯びたオレンジ色。雲の暗さで鮮やかさが増幅され神妙的な光が放たれた。昇る太陽は一瞬一瞬で色と形が変化する。かたずを呑んで見守る参加者たち。完全な姿となつたとき、朝日はひときわ輝きを増した。波打つ暗い海面に「筋」の光が差し込み、太陽の道ができた。「最高!」一人ひとりの顔が赤く染まつた。笑顔の輪が広がつた。およそ一時間の日の出ツアーアー。あつという間に心がつながつた。仲間になつた。

北大東島の活性化事業で開催されたモニターツアーの「コマ」である。

那覇から東に約360キロ。沖縄県の最東端、太平洋に浮かぶ絶海の島・北大東島は、4800万年前に「ニューギニア諸島周辺で生まれ、フィリピン海プレートに乗つて移動してきた」という。今でも一年に4センチ位動いている。深い海底から二ヨキと突き出た島の回りはすべて太平洋。沖縄のイメージである白い砂浜もなければサンゴのリーフもない。荒い波は船を寄せ付けず、人も漁船もクレーンで釣りあげられて上陸する。隣の南大東島とともに、北大東島も

100年余前に八丈島の人たちによつて開拓された。その後、沖縄各地からの入植者が加わり、燐鉱石の採掘、サトウキビの栽培で栄えた。大和文化と琉球文化がミックスされた独特的歴史や文化。隔絶された環境で残された貴重な動植物と、島そのものが魚礁といわれるほど豊かな海。4メートルにもなるタイリングットウは最近の研究で様々な効能が認められ期待の星だ。とにかく面白い。際立つた名所旧跡があるわけではないのに魅力がある。「何もないのも魅力、素朴な島人とのふれあいも魅力。厳しい自然環境と反比例してみんなやさしい。子どもたちの目は輝いている。リピーターが一様に島を褒め、はまついくのを見ると、北大東には、現代人あるいは都會人の心の隙間を埋める力があるに違いない。

私は、10数年前から地域振興の活動をしている。地域にある自然や歴史・文化などの宝を活かした商品(体験ツアーや特産品など)を生み出し、地元の人たちの心とくらしが豊かになるようにお手伝いする仕事だ。大切なのは、地域住人が主体となること。だからこそ、意識づくりや人づくり、仕組みづくりに力を注ぐ。外の目や分野のこと

の研究者、関連する業界の力も借りる。共に知恵を絞りながら足元にある宝を掘り起こし磨いていく。「らしさ」を形づくるのは、そこにしかないものだから守る手立ても欠かせない。沖縄には39の有人島がある。みんな個性があり魅力的だ。北大東や離島だけではない。各地で百花繚乱の兆しが見える。地域や人が輝いていれば、訪ねても交流しても楽しいものだ。背伸びすることはない。借り物もいらない。内なる可能性の種を育て咲かせること、そして心を合わせ力を合わせることだ。それがみんなの幸せにつながると信じ、今日も私は島々を歩く。

内なる可能性の種を育て咲かせること。

開 梨香
RIKA Hiraki



Profile



◆本名:比嘉梨香。
琉球大学法文学部社会学科卒。
インテリア会社代表を経て、株式会社沖縄ノムラ代表取締役として、文化施設や商業施設の展示・内装を手がける。
1999年NPO法人日本エコツーリズム協会設立に参画。
県内における普及・啓発活動をきっかけに、コンサルティング会社を設立。体験・交流型観光の推進や、特産品開発、人材育成に携わる。
イベント・コンベンションの実績も多い。

◆主な実績:
「中小学生サミット」、「高校生サミット」、「エコツーリズム国際大会・沖縄」、西表島、南城市、座間味村、北大東村の「体験滞在交流促進事業」。粟国村、北大東村の「自然伝統文化を活用した離島活性化事業」。内閣府「離島活性化専門家派遣事業」。与那国「国境交流推進事業」等。株式会社カルティベイト代表取締役。沖縄県教育委員長。日本エコツーリズム協会理事。沖縄県21世紀ビジョン懇話会委員。沖縄県国土計画審議会審議員他。